

第2回「会員とNP0法人等とのプラットフォーム運営委員会」議事要旨

日 時：	2019年7月2日（火）午後1時30分～午後2時
場 所：	日本証券業協会 第4会議室

次 第

1. 会員とNP0法人等のプラットフォームに関する利用規約案等について
2. 会員とNP0法人等のプラットフォームの名称について

議 事

1. 会員とNP0法人等のプラットフォームに関する利用規約案等について

事務局より、資料1に基づき、会員とNP0法人等のプラットフォームに関する利用規約案等について説明が行われた後、大要以下のとおり、意見交換が行われた。

○主な意見等

- ・株主優待の場合、預かり残高の規模に関わらず、1社1アカウントで提供されるので、証券会社が受領する優待品の数量は限られる。本プラットフォームへの参加証券会社をどれだけ集められるかが鍵となるであろう。
 - ・マッチングについては、実際に運用してみないと分からない部分もある。運用していく中で、すりあわせしていけば良いのではないかな。
 - ・内閣府でも、子供の貧困対策を目的とし、支援活動を行う団体と支援活動をサポートする企業のマッチングサイトを設けているが、支援活動を行う団体については、2名以上で構成される任意団体であれば誰でも登録が可能と、募集対象の幅が非常に広いことから、サポートする企業側からは、相手方の素性がわかりにくいという声をよく聞き、マッチングが成就した事例が少ないのが実情である。本プラットフォームについては、先ほどの説明のとおり、利用規約等において条件を子細に設定していることから、これらの規約等に則り進めていけば、円滑な運用が期待できるのではないかな。
 - ・支援の内容について、実際に支援しやすいものとそうでないものがあるかと思うので、まずはNP0法人等のニーズや証券会社側が提供しやすい内容について、試行錯誤をしながら学んでいき、長期的な視野を持って取り組んでいきたい。
 - ・本取組みについて、NP0法人等に対してはどのように周知していく予定か。
- まずは、本委員会の委員も務めていただいている全国コミュニティ財団の鈴木副会長や日本NP0センターなど、NP0法人等との深いつながりがある団体等にご協力いただきながら周知していきたい。その後は、良い事例を出していくことで、口コミが広がり、

周知につながる人が多いと聞いているので、まずはマッチング事例を作っていくことが重要だと考えている。(事務局)

2. 会員と NP0 法人等のプラットフォームの名称について

事務局より、資料 2 に基づき、会員と NP0 法人等のプラットフォームの名称について説明が行われ、本プラットフォームの名称については、「こどもサポート証券ネット」とすることです承を得た。

○主な意見等

- ・本プラットフォームの名称を「こどもサポート証券ネット」と決定するのであれば、今後、本件に係る文書の記載等については「子供」の表記を「こども」と平仮名 3 文字に統一すると、より印象に残りやすいのではないかな。

以 上

本件に関するお問い合わせ先：SDGs 推進室（03-6665-6783） 本議事要旨は暫定版であり、今後内容が一部変更される可能性があります。
--